

伊達政宗公生誕四五〇年を記して

登米懐古館秋の企画展

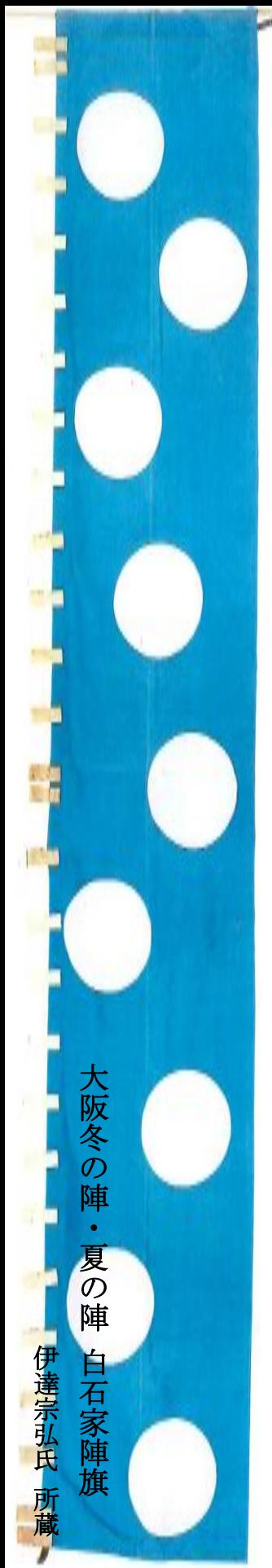
政宗の懐刀

ふとこころがたな

藩祖

白石宗実と宗直

登米伊達家初代



大阪冬の陣・夏の陣 白石家陣旗
伊達宗弘氏 所蔵



大阪冬の陣・夏の陣白石家馬印
伊達宗弘氏 所蔵



白石宗直木像
養雲寺 所蔵

伊達政宗公とその重臣であった白石宗実・宗直親子の主従関係に焦点をあて伊達家存亡の時に際し、機転な働きで困難を乗り越え奉公をした家臣の姿を追う。そうした政宗公の家臣たちの働きがあり、その後の仙台藩・伊達家の燦然と輝く地位が築きあげられた。

期間：平成29年10月1日(日) ~ 11月19日(日) 9:00~16:30

主な展示

- ・登米市重要刀剣／太刀(備前長船恒弘) など
- ・白石家戦陣略記
- ・大坂冬の陣・夏の陣、陣旗・馬印
- ・千利休書状

刀剣解説会・相談会

11月12日(日)

- ・解説会 13:00~13:30
- ・相談会 13:30~15:00

～企画展によせて～

政宗は戦国時代も終わらんとした時代に誕生、自ら主導権を取って戦をしたのは23歳の磐梯山麓摺上原の戦いまでである。8年間秀吉に臣従、40年徳川3代に仕えた。白石宗実が政宗が果敢な戦いをして秀吉に臣従した時代、政宗を助け外交面でも大切な役割を果たした。宗直は政宗が本格的な仙台藩の国づくりの時代に宇和島城の受け取り等の役割を果たす一方、北上川の改修事業に着手した。北上川の改修によって仙台藩に40万石の増収をもたらしたといわれる。そんな時代に夢を馳せていただければ幸いである。

登米伊達家16代当主 伊達宗弘氏
(仙台大学客員教授)

“記念講演会”のお知らせ
「伊達政宗生誕450年を記して」

- 登米伊達家16代当主伊達宗弘氏による記念講演会を下記日程で行いますのでご来場お待ちしております。
- ・日にち／12月10日(日)
 - ・時間／14:00~15:30
 - ・場所／とよま観光物産センター 遠山之里

登米懐古館 (宮城県登米市登米町寺池桜小路 103-9) ☎0220-52-3578

主催 : 株式会社とよま振興公社

<http://toyoma.co.jp>

後援 : 登米市教育委員会・宮城県美術刀剣保存協会

監修 : 伊達宗弘氏